

神奈川県における漂着鳥類の記録

石井 雅之

Masayuki Ishii: Stranding Records of the Birds in Kanagawa Prefecture

はじめに

筆者は県内でのウミガメ類・鳥類の漂着実態を明らかにする為、2002年より海岸踏査・漂着個体の解剖調査・漂着個体の博物館への寄贈などを行っている。そのうち漂着が稀な鳥類10個体について、ここに報告する。

海岸踏査

1日に片道約10km海岸を往復し、漂着個体を目視で探した。ウミウ・カワウ・ハシボソミズナギドリ・ハイイロミズナギドリ・オオミズナギドリについては漂着地点で解剖調査を行った。2006年は1月6日から12月28日まで茅ヶ崎市を中心に208回の踏査を行い、2007年は1月5日から10月10日まで鎌倉市を中心に109回の踏査を行った。

漂着鳥類リスト

- 1行目：通し番号，標準和名，学名
- 2行目：発見日，漂着地点
- 3～4行目：漂着状態と海況
- 5行目：標本収蔵機関名（標本番号）

1. コアホウドリ *Diomedea immutabilis* (図1)

2006年4月3日，横須賀市秋谷の久留和海岸高潮線に半ば埋もれていた。腐敗し嘴の角質板が一部剥離。3月30日と31日は南西の強風が2日間続いた。

神奈川県立生命の星・地球博物館（なし）

2. ウトウ *Cerorhinca monocerata* (図2)

2006年4月21日，鎌倉市材木座5丁目の海岸潮間帯に漂着海藻と共に漂着していた。やや腐敗し，漂着後と思われる食害痕があった。20日は南西の強風。

神奈川県立生命の星・地球博物館（なし）

3. ウミスズメ *Synthliboramphus antiquus* (図3)

2006年7月7日鎌倉市腰越1丁目の海岸南西風でやや時化ぎみの高潮線に漂着していた。ごく新鮮。
標本採取せず。



図1. コアホウドリ，2006年4月3日，横須賀市秋谷



図2. ウトウ，2006年4月21日，鎌倉市材木座

4. フルマカモメ *Fulmarus glacialis* (図4)

2006年11月9日, 鎌倉市材木座5丁目の海岸
7日に南西の強風が吹いた後, 高潮線に漂着していた。
やや腐敗し, 頭部がなくなっていた。
国立科学博物館(なし)

5. フルマカモメ *Fulmarus glacialis* (図5)

2007年3月5日, 鎌倉市材木座5丁目の海岸
南西の強風が吹き始め, 潮間帯に海藻と共に漂着していた。
ごく新鮮。
国立科学博物館(NSMT-A-15317)

6. フルマカモメ *Fulmarus glacialis* (図6)

2007年3月6日, 鎌倉市材木座5丁目の海岸
5日に南西の強風が吹いた後, 潮間帯に海藻と共に漂着していた。
新鮮だが, 嘴が折れ消失していた。
国立科学博物館(なし)

7. カツオドリ *Sula leucogaster* (図7・8)

2007年3月6日, 鎌倉市由比ガ浜4丁目の海岸
5日に南西の強風が吹いた後, 潮間帯に海藻と共に漂着していた。
新鮮。
国立科学博物館(NSMT-A-15318)

8. クロアシアホウドリ *Diomedea nigripes* (図9)

2007年6月7日, 鎌倉市長谷2丁目の海岸
南風の時化の中, 潮間帯に海藻と共に漂着していた。
腐敗し, 骨格が露出していた。標識あり。
神奈川県立生命の星・地球博物館(KPM-NF2001165)

環境省鳥類標識調査による回収記録

足環番号: 13B-0802

標識日: 2002年5月18日

標識場所: 東京都鳥島燕崎・初寝崎

標識時年齢: 雛

性別: 不明

9. カンムリウミスズメ

Synthliboramphus wumizusume (図10)

2007年6月20日, 鎌倉市材木座5丁目の海岸
南西風が続く中, 潮間帯に漂着していた。かなり腐敗し,
エボシガイが付着していた。
国立科学博物館(なし)

10. ミナミオナガミズナギドリ *Puffinus bulleri*
(図11・12・13)

2007年6月23日, 鎌倉市材木座5丁目の海岸
22日に南西の強風が吹いた後, 高潮線で発見した。
ごく新鮮で, 死後硬直が残っていた。
国立科学博物館(NSMT-A-15428)

謝辞

本報告をまとめるに当たり, Emma Longhorn氏からはウトウの漂着情報を寄せていただいた。神奈川県立生命の星・地球博物館の加藤ゆき氏にはクロアシアホウドリの標識報告に便宜を図っていただいた。財団法人山階鳥類研究所には標識記録の照会について便宜を図って



図3. ウミスズメ, 2006年7月7日鎌倉市腰越



図4. フルマカモメ, 2006年11月9日, 鎌倉市材木座



図5. フルマカモメ, 2007年3月5日, 鎌倉市材木座



図6. (右) フルマカモメ, 2007年3月6日, 鎌倉市材木座
(左) カツオドリ, 2007年3月6日, 鎌倉市由比ガ浜

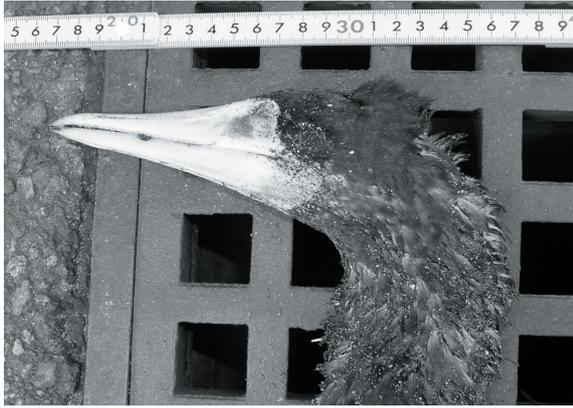


図 7. カツオドリ, 2007年3月6日, 鎌倉市由比ガ浜



図 8. カツオドリ, 2007年3月6日, 鎌倉市由比ガ浜



図 9. クロアジアホウドリ, 2007年6月7日, 鎌倉市長谷



図 10. カムリウミスズメ, 2007年6月20日, 鎌倉市材木座



図 11. ミナミオナガミズナギドリ, 2007年6月23日, 鎌倉市材木座



図 12. ミナミオナガミズナギドリ, 2007年6月23日, 鎌倉市材木座



図 13. ミナミオナガミズナギドリ, 2007年6月23日, 鎌倉市材木座

ただいた。国立科学博物館の西海功氏にはミナミオナガミズナギドリ・フルマカモメ・カムリウミスズメの同定をしていただいた。国立科学博物館の岩見恭子氏には標本番号の照会について便宜を図っていただいた。国立科学博物館の角田恒雄氏には標本の迅速な運搬に便宜を図っていただいた。ここに記して感謝の意を表す。

(独立行政法人国立科学博物館)

